

# JIS

UDC 621.391.81 : 621.398 : 681.3.02

X 5709  
(ISO/IEC 9072-2)

## 遠隔操作—第2部 プロトコル仕様

JIS X 5709<sup>-1991</sup>  
(ISO/IEC 9072-2 : 1989)  
(1997 確認)  
(2002 確認)  
(2008 確認)

平成 3 年 11 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

---

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成 3.11.1

官 報 公 示：平成 3.11.2

原案作成協力者：財団法人日本規格協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 情報部会（部会長 高橋 茂）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部情報規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

遠隔操作— X 5709-1991  
第2部 プロトコル仕様 (ISO/IEC 9072-2 : 1989)

Information processing systems—Text communication—  
Remote Operations—Part 2 : Protocol specification

日本工業規格としてのまえがき

この規格は、1989年に第1版として発行されたISO/IEC 9072-2 (Information processing systems—Text communication—Remote Operations—Part 2 : Protocol specification) を基に、技術的な内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

**0. 序文** この規格は、遠隔操作サービス要素 (ROSE) が提供するサービスに対するプロトコルを規定する。ROSE は、分散した開放型システム環境において相互動作する応用を支援する応用サービス要素の一つである。この規格は、多くの応用が共通に使用する一連の応用サービス要素を定義する規格の一つである。

この規格は、分散した応用エンティティ間の相互動作を遠隔操作としてモデル化し、相互動作を遠隔操作記法を用いて定義する。ROSEは、一方の応用エンティティが遠隔操作を要求し、他方の応用エンティティがその実行を試みて、結果を報告するという相互動作のための遠隔操作を提供する。

**1. 適用範囲** この規格は、遠隔操作 (JIS X 5708参照) のプロトコル (抽象構文) 及び手順を規定する。この規格は、次に示すサービス及びプロトコルを使用してROSEサービスを提供する。

- (1) アソシエーション制御サービス要素 (以下、ACSEという。) サービス (JIS X 5701参照)
- (2) ACSEプロトコル (JIS X 5702参照)
- (3) プレゼンテーションサービス (JIS X 5601参照)
- (4) 任意選択として、高信頼転送サービス要素 (以下、RTSEという。) サービス (ISO/IEC 9066-1参照)
- (5) 任意選択として、RTSEプロトコル (ISO/IEC 9066-2参照)

ROSE手順を、次の点に関して定義する。

- (1) RTSEサービス又はプレゼンテーションサービスを使用した同位ROSEプロトコル機械間の相互動作
- (2) ROSEプロトコル機械及びそのサービス利用者間の相互動作

この規格は、これらの手順を実装するシステムのための適合性の要件を規定する。

**2. 引用規格** この規格で引用する規格を、次に示す。これらの規格がこの規格の本文中で引用された場合は、この規格の規定の一部とみなす。

- (1) ISO/IEC 7498 : 1984 Information processing systems—Open Systems Interconnection—Basic Reference Model  
備考 JIS X 5003 (開放型システム間相互接続の基本参照モデル) -1987が、この国際規格と技術的に一致している。
- (2) ISO/TR 8509 : 1987 Information processing systems—Open Systems Interconnection—Service conventions  
備考 JIS X 5201 (開放型システム間相互接続—基本コネクション型セッションサービス定義) -1991の参考 (開放型システム間相互接続のサービス記法) が、この国際規格と技術的に一致している。